



# 日本防災士会広島県支部会報



第21号 平成21年7月21日

## 日本防災士会広島県支部活動報告

### NPO 法人健康危機管理協会 6月講演会参加報告【第10回広島県支部勉強会】

日時：6月17日(水) 18:30~19:30

演題：どんな土砂災害がどんな場所でどんな時に発生するのか

講師：中井真司氏 復建調査設計(株)防災システム部 防災課

場所：幟会館2F(広島市中区八丁堀3-1) 参加者：中嶋泰、中嶋瑞紀、今井・新本・楠田防災士

中井真司氏から、梅雨時期や台風時期には毎年のようにどこかで土砂災害が発生。

土砂災害には、「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」といろいろな種類がある。

地質や地形条件である土砂災害発生の「素因」、降雨など土砂災害の「誘因」による、土砂移動メカニズムを知り、「ある程度土砂災害は防げる」あるいは「発生してしまった土砂移動を最小限にとどめることができる」ということを理解して頂きたいと、広島県内で発生した土砂災害の例を交えながら、わかりやすく講義していただいた。

最後に、災害軽減のためには、社会的側面、地域でしかわからないことも多くあるので、多くの分野の、数多くの方々が興味を持っていただき、アイデアを集めて防災力を高めなければならないと思っています。一人でも多くの方が、防災に興味を持ってくださればと心より願っております。と結ばれた。

### NPO 法人健康危機管理協会 7月講演会 【第11回広島県支部勉強会】

日時：7月8日(水) 18:30~19:30

演題：海上自衛隊衛生組織の概要

講師：堂本英治氏(海上自衛隊 呉衛生隊長)

場所：幟会館2F(広島市中区八丁堀3-1)

参加者：中嶋瑞紀、佐々木、新本、楠田防災士

海上自衛隊の組織が5つのブロックにわかれていること、どのような装備で日本の国を守っているのか、海上自衛隊の中でもマイナーな衛生組織の仕事内容について、詳しく教えていただきました。

謝辞：第10回と第11回の勉強会は、NPO 法人健康危機管理協会講演会主催の勉強会に広島県支部の防災士が参加して、地域防災力向上に向けてのスキルアップに努めています。紙面を借りて心より感謝申し上げます。

### 【第12回広島県支部勉強会】

中国地方防災研究会 平成21年度第1回講演会

6.29~土砂災害による犠牲者ゼロをめざして~ 広島土砂災害から10年

日時：7月9日(木) 14:30~17:00

場所：広島YMCA国際文化ホール(中区八丁堀7-11) 参加者：今井防災士

講演：「犠牲者ゼロをめざして」国土交通省砂防部長 中野泰雄氏

「地球規模で自然現象を見る」「我が国の経済状況と予算」「最近の災害」の3項目に分けて講演された。

質疑応答では防災教育について質問があり、交通が便利な所に住むことになり、人の自然との共生する能力が低下している。

また、理科の得意な教師が少なくなったことが問題となっている。そこで、自然に関する知識を持つこと、動物の本能をみがいて、自然を見る目を養う必要があり、広島大学の先生とも、自然とふれあうこと、防災教育についての検討を行っていると言われた。

講演：「6.29広島土砂災害から10年を経て」広島大学総合科学研究科准教授 海堀正博氏

平成11年6月29日の広島豪雨災害による32名の犠牲者のうち、24名が土砂災害であった。この教訓を踏まえて、土砂災害の検証と教訓、教訓を踏まえての施策、課題について説明された。

実際には助けの手が直ちに被災者に届けることができないため、自主防災活動や自主避難等に期待せざるを得ないこと。過去の災害の教訓、経験談、土砂災害発生のメカニズムを知って自らの備えを万全にしておくことを強調された。

【今後の予定】 9月6日(日) 10:00~16:00 江波山気象館「防災の日イベント」日本防災士会広島県支部 共催  
身近にある物を使った応急手当・防災紙芝居 他